

日本臨床検査学教育協議会  
令和7年度 第3回理事会

開催日：令和7年12月1日（月）13時00分～14時47分

場 所：Zoom によるオンライン

<https://zoom.us/j/94127226215?pwd=bU2lxUqVwXWsaPXxFuj0br7HxZbvC5.1>

出席者数：理事17名、監事2名

出席理事：坂本秀生（理事長）、三善英知、山藤 賢、關谷暁子、高崎昭彦、小野川 傑、杉本恵子、大瀧博文、中前雅美、宮本 紗、石岡聰子、石井直仁、多田達史、吉田祥子、勝田 仁、富山智香子、吉田 繁

出席監事：伊藤昭三、原田典明

欠席理事：高木清司、野島順三、山口 聰

オンラインゆえ、参加者全員への音声確認、意思疎通が行えることを確認後に開始。

#### 報告事項

1) 第19回日本臨床検査学教育学会学術大会報告：坂本理事長

期間：令和7年8月21日（木）～22日（金）

場所：岡山大学鹿田キャンパス

参加人数：533名

日本臨床検査学教育協議会加盟校教員：311名

学生・大学院生：192名

日本臨床衛生検査技師会会員：3名

招待ご登壇者：2名

協賛団体参加者：10名

上記以外の参加者：15名

2) 臨地実習ガイドライン（臨地実習指針2026へ改称予定）：坂本理事長

主に様式8・様式10に関して修正予定であることが報告された

3) 臨地実習施設向けポスター作成：坂本理事長

坂本理事長より、日本臨床衛生検査技師会（日臨技）と共同で作成し、厚生労働省より後援許可を取得したこと、関連団体から後援許可を取次第に公開・配布予定と報告があった。

4) 委員会及び部会

調査研究委員会：杉本理事

令和7年度 永住権を有さない外国籍学生に関する実態調査に関する調査結果を会員校へ配信し、会員校専用ページに掲載済みであると報告があった。

地区部会委員会：石岡理事

各支部について開催報告があった。

近畿中国四国部会総会（令和7年6月8日）、オンライン開催

中部部会総会（令和7年11月12日）、オンライン開催

九州・沖縄部会総会（令和7年11月28日）沖縄県立博物館・美術館 美術館講座室

#### 広報委員会:關谷理事

##### 1. 令和 7 年度「こども霞が関見学デー」視察

日時：2025 年 8 月 6 日（水）、場所：厚生労働省

臨床検査振興協議会の加盟団体として視察および運営補助業務を行った。

##### 2. ウェブサイトの更新

日臨教ウェブサイトの更新作業を進めているので、執筆協力をお願いしたい。

#### 研修委員会:山口理事

##### 1. 令和 7 年度第 1 回教員研修会の実施

令和 7 年 9 月 25 日（木）13 時～14 時

講師 進研アド 枝廣 玲志 様 「高校生の現状と臨床検査分野へ導くために」

出席者 160 名以上

##### 2. 令和 7 年度第 2 回教員研修会の実施計画

令和 8 年 3 月中旬～下旬の実施に向けてテーマを検討中

#### 学会運営委員会:勝田理事

##### 第 20 回 日本臨床検査学教育学会学術大会

テーマ：『臨床検査学 次の 20 年へ！ - 目指す未来、実現への課題 - 』

開催日：令和 8 年 8 月 27 日（木）～28 日（金）

会場：九州大学病院キャンパス 百年講堂

担当校：九州大学

大会長：勝田 仁（九州大学）

副大会長：石井 直仁（北里大学）

実行委員長：重藤 寛史（九州大学）

##### 第 21 回 日本臨床検査学教育学会学術大会

大会長：石井直仁（北里大学医療衛生学部医療検査学科）令和 9 年（予定）

##### 第 22 回 日本臨床検査学教育学会学術大会 開催校：東北大学：令和 10 年（予定）

##### 第 23 回 日本臨床検査学教育学会学術大会の開催校：四日市看護医療大学：令和 11 年（予定）

#### 学術委員会:富山理事

##### 科目別分科会（令和 7 年 8 月 21 日）

岡山大学での学術大会にて、10 分科会が対面形式で開催

##### 第 1 回学術委員会（令和 7 年 10 月 29 日）

分科会役員および学術委員の変更

・血液検査学分科会

会長：關谷暁子（北陸大）→小笠原篤（国際医療福祉大・大田原キャンパス）に交代

学術委員：關谷暁子氏が継続

・病理組織細胞学分科会

現会長の任期を 1 年間延長

・遺伝子検査学分科会

会長・副会長ともに現職が継続。学術委員は会長が継続

#### 臨地実習前技能修得到達度評価の標準化・スリム化および外部評価導入に関する検討状況

・評価方法の標準化・スリム化に向けて、原案作成を進める予定。

・外部評価は将来的な導入の必要性を共有し、導入への課題を整理し、段階的導入を検討していくことを確認した。

## 第2回学術委員会（令和7年11月25日）

臨地実習前技能修得到達度評価について、現行分類は維持しつつ、各分科会に評価内容のスリム化を依頼。まずスリム化を進め、その後具体的な審査基準を協議予定。

### 5) 臨地実習施設の検索システム構築

日本臨床衛生検査技師会のシステムへ、本会も協力し臨地実習施設で「必ず実施」「必ず見学」「望ましい」行為を検索可能なデータベースを構築し、令和7年度中の公開を目指している。

### 6) その他

#### 審議事項

##### 第一号議案 教育内容5年毎見直しに向けた事前調査まとめ

厚生労働省では医療職者の卒前教育内容につき、5年毎に見直す方針を示している。臨床検査技師では令和4年度からの新カリキュラムが関されたことから、次期「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」に向けた準備も兼ね、令和6-7年にかけて新カリキュラムについて調査を行った。

上記調査結果を踏まえ、次期「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」に向けた際の事前準備を日本臨床衛生検査技師会と行う際の資料内容の確認を行なった。

臨床検査技師学校養成所指定規則にて、「生化学的検査・免疫学的検査」との表記につき、それぞれの科目として独立しているにも関わらず「・」で結ばれていることで、学生への混乱が予想されることもあり得る。

科目承認校が指定科目として協議申請を厚生労働省へ行う際は、「生化学検査学」「免疫検査学」と独立して記載されていることもあり、指定規則でも「生化学的検査および免疫学的検査」と独立した科目であることがわかる表記が好ましいとの意見が出た。

臨時総会ではこの点に関して会員校へ要望の意図を説明し、審議事項とすることとした。

##### 第二号議案 顕彰委員会の発足

顕彰規定 第3条に基づき、令和7年度の顕彰委員会を以下の委員で構成し、永年精励賞対象者へ授与することが承認された。

委員長	三善 英知	大阪大学
委員	西野 康幸	日本医療学院専門学校
	本多 政夫	金沢大学
	吉田 祥子	東京工科大学
	石井 直仁	北里大学

永年精励賞：顕彰規程第6条1号に基づき、臨床検査技師教育に20年以上勤務した者として、正会員校から推薦を受けた方が対象。

##### 第三号議案 国家試験問題検討委員会の発足

令和8年2月実施の第72回臨床検査技師国家試験問題検討委員会につき、大瀧博文理事が統括し以下の委員で構成し、国家試験問題検討委員会を発足することが承認された。

統括	大瀧博文	：関西医療大学
委員	中村彰宏	：天理大学、竹田知広

#### 第四号議案 令和 8 年度 理事会 定時総会日程

令和 8 年度 理事会、定時総会日程について、以下が承認された。

理 事 会：令和 8 年 5 月 11 日（月）13 時-14 時

定時総会：令和 8 年 5 月 25 日（月）13 時-16 時

#### 第五号議案 臨地実習委託料金

臨地実習委託料金について目安を提案するため、臨地実習委託料金に関する調査実施について、丁寧に対応したく理事と 8 月 27 日から 10 月 8 日まで意見交換を行なった。賛成論・慎重論いずれも説得力ある意見であり、早急に実施せず本年度の調査は控えることとした。

#### その他

特に無し

以上、予定していた報告及び審議事項を終え、Zoom でも滞りなく理事会を進行できたことを確認し、14 時 47 分に終了した。

令和 7 年 12 月 2 日

代表理事（理事長） 坂本秀生 印